

# モニターレポート（11月報告）

## 【報告内容①】

阿賀野川の土手を、昼頃走ってみました。風もなく、ふりそそぐ陽ざしが心地よかったです。泰平橋近くの河川公園では、高齢者のグループがゲートボールをしていましたが、夏場のようには野球やサッカー等のスポーツをしている人の姿はありませんでした。松浜橋下流の飛行機誘導灯近くの川岸では、飛行機の離発着を撮影したり見学する人が捨てていったと思われるたばこの吸い殻やペットボトル、パンの空袋などが散乱していました。公園内の樹木はきれいに剪定され、ゴミも落ちてなく、最適な散歩日和でした。

## 【事務所からのコメント】

日毎に寒さが増し、河川敷の公園や田畑では人の姿が少なくなってきました。雪が積もるとさらに利用者はいなくなり、静かな阿賀野川となります。

河川内へのゴミのポイ捨てや不法投棄は後を絶たないのが現状であり、非常に残念なことです。これらは水質・景観などの河川環境を悪化させるとともに河川を利用する人の支障にもなります。

ゴミのポイ捨てや不法投棄をなくすためには、当たり前のことですが『ゴミは持ち帰るか、決められた場所に捨てる』という一人一人のマナーが大切です。きれいな阿賀野川を後世へ残すためにも、河川利用のマナー向上に努めていただきたいものです。

## 【報告内容②】

阿賀野川河川敷の公園で、10月31日に小杉地区の皆さんによって開催されたイベントに行ってきました。あいにくの雨でしたが、食事処や抽選会もあり、大勢の方が来場されていました。地域をあげて、一緒に交流できると良いなと思いました。

河川敷では野菜の取り入れが始まり、赤や黄色い実なども晩秋を飾っていました。河川敷の自然をそのまま残していくため、大切にしていきたいと思います。

## 【事務所からのコメント】

モニター様が参加されたイベントでは抽選会や食事処があったということなので、若い世代や子供達が参加することで、地域の伝統や自然を愛する心が引き継がれていくのだと思います。他地域との交流は、自分の住む地域との相異を知るだけでなく、お互いの地域それぞれの魅力を発信し情報共有することで、より良い地域づくりが広まっていくと思います。

雪はまだ降っていませんが、日毎に寒さが増しております。

阿賀野川から見える山々は薄ら白くなり、平地でも雪が降る季節になってきました。

河川に積もった雪の下には危険な箇所が隠れていることもありますので、これからのモニター活動には十分お気を付けください。

# モニターレポート（11月報告）

## 【報告内容③】

夏に阿賀野川フェスティバル、というイベントがあるので、冬にも同じようなイベントやってみてはどうでしょうか？  
道路を除雪した雪をかき集めて像を作るとか、屋台を出したりすれば、人が自然に集まるかと思えます。

## 【事務所からのコメント】

冬は河川敷を利用する人が少なくなりますが、流域の自治体では、冬期間も「温泉」「白鳥」に関係したイベントが予定されているようです。  
河川にも多数の白鳥が飛来しますし、新潟は「雪」も多いので、関連するイベント開催のご提案については、機会をみて市町村にお伝えすることとします。

## 【報告内容④】

阿賀野川河川事務所のホームページには、魚釣りなどの行為は、河川管理者の許可は必要ないとあります。しかし漁協では、魚釣りをするには遊漁証の購入が必要とあります。  
私は、河川管理者に、釣りをすることの許可は必要ないが、漁協の許可は必要という理解で遊漁証を購入しました。この辺が今のホームページではわかりにくいので、改善して欲しいです。

## 【事務所からのコメント】

河川での魚釣りは自由使用の範疇とされていますが、ご報告にあるとおり、漁業権が設定されている河川（阿賀野川にも設定されています。）においては、一般の釣り人が魚釣りをする場合には、遊漁証の購入が必要となる場合があります。  
ホームページ上では、河川法の観点から河川利用について説明しておりますが、今後より誤解が生じないよう、説明内容を工夫してまいりたいと思います。